



高鍋高校・高鍋農業高校・高鍋東・西小学校の校外学習でのガイド



(町外の団体のみなさんへのガイド)



(今なお遺る、老瀬観音の MARIA 像)

一般・特別会計補正予算・総務・文教・特別委員会審査…… P2~P3  
 可否表他…………… P4~P5  
 一般質問…………… P6~P11

## みんなやっおるね!

まちの光 第13回 『何でも観光!をモットーに活動される。高鍋町観光ガイドの会』

(目的) この会は、高鍋町の歴史、文化、自然等を紹介し、観光事業の振興発展を図るとともに、会員相互の交流研鑽を図る。

(事業) この会は、目的達成のため、次の事業を行う。  
 (1) 高鍋町内の観光ガイドサービス (2) 歴史・文化・自然・その他に関する学習  
 (3) 会員の意見交換 (4) その他、目的達成に必要なこと

- 平成 21 (2009) 年 8 月 26 日から活動を始め現在で 16 年となる観光ガイドの会は、年間 約 500 名以上の方を町内の名所旧跡を中心に、歴史的観点や要望があれば、近隣の市町へ案内し、ガイドを行っています。対象者は県内・県外・国外から高鍋町に訪問された方や、町内の小中高等学校の校外授業での依頼も多く、その他では町内外の自治公民館をはじめ、各種団体や企業新人研修でのガイドにも協力されています。
- 観光ガイドの会の皆さんのモットーは歴史的・文化的なガイドだけでなく、いかに高鍋町を満喫した訪れたいと思っただけのように『笑いを織り交ぜたガイド』を心掛けているとの事です。



『この笑顔で、多くの方をお迎えします!』

【先進地：佐賀県唐津城の視察と地元ガイドから学ぶ!ガイド実践研修にて】

### 編集後記

令和8年の干支は、丙午(ひのえうま)です。「情熱的で強い意志を持ちながらも、激しさや変化を伴う」といった意味合いを持つ年とされています。

昨年10月から11月にかけて、高鍋町議会として初となる町民との意見交換会を、全ての連協にて実施いたしました。町民の皆様から頂きました様々な意見・要望等に応えられよう、行政へ求めてまいります。高鍋町が、情熱や勢いが高まり、太陽のようなエネルギーに満ち溢れた一年になることを祈念いたします。

(橋 重文・記)

#### 議会広報編集特別委員会

委員長 兒玉秀人 委員 森崎英明  
 副委員長 榎原富子

橋 重文  
 森 弘道  
 加藤秀文

(表紙写真) 高鍋町観光ガイドの会

※4月からのデジタル化に伴い、次回から紙面が大きくなります

# ▶ 一般会計補正予算 ◀

## 5億6732万2千円を追加し、 総額132億874万4千円 になりました。

令和7年第4回定例会が12月4日から16日までの13日間の日程で行われ、条例等について12件、補正予算6件、工事請負変更契約2件、同意1件が上程され審議を行いました。

# 令和7年度 12月 補正予算

### 主な事業

- 畜産競争力強化整備事業補助金… **3億5499万7千円**
- 蚊口浜海水浴場公衆トイレ解体工事…………… **400万円**
- 蚊口海浜公園管理棟改修工事実施設計業務委託 **150万円**
- 産業廃棄物処理委託…………… **450万円**
- 小・中学校光熱費…………… **499万4千円**
- 物価高騰対策費…………… **997万4千円**
- 障がい介護給付費…………… **9082万3千円**
- 障がい児給付費…………… **2611万1千円**
- 道路維持費…………… **480万円**
- 法定外公共物維持整備工事…………… **500万円**

### ▶ 特別会計補正予算 ◀

国民健康保険特別会計補正予算 (第4号) <small>(職員手当)</small>	29万8千円増
後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号) <small>(保険料還付金)</small>	3万6千円増
介護保険特別会計補正予算 (第3号) <small>(人件費等)</small>	366万3千円増
下水道事業会計補正予算 (第4号) <small>(マンホール高さ調整作業)</small>	150万円増

◆常任委員会審査◆ (本会議から付託された、議案や請願などについて審査を行います)

### 総務厚生常任委員会

◆児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について  
保育所等における虐待等の不適切事案を踏まえ、子どもや保護者が安心して保育所等に通う環境を整備していくため、虐待等の発見時の通報義務等の仕組みを設ける。

◆高鍋町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
現行の幼児教育・保育給付とは別に、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、保育施設等を時間単位で利用できる。乳児等のための支援として令和8年度からの実施に向け、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準等を定める。

◆令和7年度高鍋町一般会計補正予算(第5号) 物価高騰対策費について  
物価高騰に影響を受ける町内の介護サービス事業所・医療機関等に対する支援金及び障がい福祉サービス事業所・保育施設等に対して補助を行う。

交通安全対策費について  
LED防犯灯20個の購入費用と24基の防犯灯設置手数料を追加補正する。

消防施設費について  
消防車両の車載無線機の更新費用を予算計上している。

災害対策費について  
防災士養成事業補助金は、資格取得者が予想以上に多かったため、追加補正する。

### 文教産業建設常任委員会

◆議案第78号高鍋町公園条例の一部改正について  
現在、国民スポーツ大会に向けて改修されている高鍋総合運動公園野球場本部席に空調を設置することに伴い、改修後の本部席使用料と放送設備等の使用料を分けて設定するもの。また、町内団体と町外団体の料金設定も行う。

◆令和7年度高鍋町一般会計補正予算(第5号) 小・中学校管理費について  
電気料金単価が上昇していること及び夏の猛暑により冷房機の稼働が増えたことから小中学校4校分の電気料金の不足分を補正するもの。また、西小学校、東・西中学校に熱中症対策の一環として熱中症センサーを設置するための手数料を計上。  
法定外公共物維持整備工事について  
小丸出口地区のボトルネックとなっている排水路の断面を広くするための工事を以前行ったが、今年夏の台風時に床下浸水が発生したため、除草及び浚渫を行い、防草コンクリートによる法面補強工事を行うもの。

トイレ改修設計業務委託について  
蚊口海浜公園管理棟の既存トイレを改修し、身障者用トイレ、男女別のトイレ増設工事を実施するための設計業務委託料を計上。

畜産競争力強化整備事業補助金について  
畜産クラスター事業を活用し、成鶏舎1棟、集卵舎1棟及び堆肥舎1棟を建設する事業費の2分の1を補助するもの。工期は5月に着工、翌年2月に完成予定。

県営事業負担金について  
姥瀬地区圃場整備の事業費増加に係る市町村負担のうち高鍋町分4・45%予算計上。

### 特別委員会審査

### 特別会計予算及び条例審査

◆高鍋町水道事業設置等に関する条例の一部改正について  
拡張事業を実施するにあたり、水道事業経営の基となる、事業の規模を見直し、事業の変更認可を受けたので、その変更部分について、改正するもの。人口減少と給水量の変化を反映させ計画給水量を1万6400人、1日最大給水量を6900立方メートルとするもの。

◆令和7年度高鍋町介護保険特別会計補正予算(第3号)  
税制改正に伴う介護保険システム改修委託料の増額及び地域密着型介護予防サービス費が増額となるため、居宅介護サービス給付費との間で財源調整するもの。システム改修の内容は、令和7年度の税制改正で、給与所得控除について、最低保証額が10万円引き上げられることとなったが、この税制改正適用後に、税システムにより算出した所得額の減少によって、介護保険料までが減収とならないように、税システムから受け取った所得額を介護保険システムから受け取った所得額に戻す作業を行うもの。

◆令和7年度高鍋町下水道事業会計補正予算(第4号)  
町道工事に伴う施工区間内の、マンホール1箇所の高さの調整と、公共柵2箇所を移設する費用としての手数料の増。また、修繕として、公共柵設置工事の予定箇所の増加に伴う、追加分を計上。



## 町議会と町民の皆様との意見交換会について

令和7年10月6日から11月25日にかけて公民館を中心にして10回の意見交換会を行いました。175名の方に参加していただき、町政等についてさまざまなご意見をうかがうことができました。今後の議会の参考にしていきます。また、出された要望については、文書にして、町当局へ伝えました。



## ご意見として特に多かった5項目



- ①道路整備について  
(道路の補修・改修。道路の草刈り等の管理)
- ②南海トラフ地震等の災害対策(地震・水害)
- ③デジタル化について  
(デジタル化ありきではなく紙での提供も)
- ④高齢者福祉について(介護認定のあり方)
- ⑤竹鳩橋の架け替えについて  
(賛成・反対の意見。説明会の開催要望)



## 令和7年 第4回定例会 可否表

件名	(○)賛成 × 反対 一欠席 ※議長は採決に加わりません															
	1 門高正則	2 森崎英明	3 橋重文	4 春成勇	5 兒玉秀人	6 中村未子	7 永友良和	8 森弘道	9 加藤秀文	10 櫻原富子	11 松岡信博	12 緒方直樹	13 田中義基	14 古川誠	15 古川誠	16 古川誠
議案 84	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 85	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

以下の議案は、全員賛成で同意・可決されました。

議案 68	高鍋総合運動公園野球場改修工事のうち建築一式工事請負変更契約について	
同意 3	教育委員会委員の任命について	
議案 69	西都児湯障害認定審査会共同設置規約の変更について	
議案 70	高鍋町青少年問題協議会条例の廃止について	
議案 71	高鍋町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	
議案 72	高鍋町印鑑条例の一部改正について	
議案 73	児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	
議案 74	高鍋町子ども・子育て会議設置条例の一部改正について	
議案 75	高鍋町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
議案 76	高鍋町保育所条例の一部改正について	
議案 77	高鍋町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	
議案 78	高鍋町公園条例の一部改正について	
議案 79	令和7年度高鍋町一般会計補正予算(第5号)	修正案 修正議決した部分を除く原案
議案 80	令和7年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	
議案 81	令和7年度高鍋町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	
議案 82	令和7年度高鍋町介護保険特別会計補正予算(第3号)	
議案 83	令和7年度高鍋町下水道事業会計補正予算(第4号)	
議案 86	高鍋町常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	
議案 87	令和7年度高鍋町一般会計補正予算(第6号)	



# あなたの声を町政に 10人が登壇

一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長や教育長等に方針を問うものです。議員一人の持ち時間は30分です。議会だよりでは本人の要約書をもとに、その内容を約900字にまとめ、お知らせしています。詳細（会議録）は後日、町のホームページから閲覧できます。

## 議会傍聴アンケート

第4回定例会に、傍聴にこられた方にアンケートをお願いしました。《傍聴者24名》

- ◆これまで議会を傍聴されたことがありますか。
  - 初めて……………(2)
  - 2回目……………(1)
  - ときどき行く……………(3)
- ◆議会の開催をどのようにお知りになりましたか。
  - 一般質問のお知らせ……………(5)
  - ホームページ……………(1)
  - 新聞……………(1)
  - 議員から……………(0)
  - その他……………(0)
  - LINE……………(0)
  - その他……………(0)
- ◆議会傍聴の目的・理由について。
  - 議会に関心がある……………(5)
  - 町政に関心がある……………(4)
  - 議案や質問内容に関心がある……………(4)
  - 議員に誘われた……………(0)
  - 各種団体や知人に誘われた(0) その他……………(0)
- ◆議員の発言内容はよくわかりましたか。
  - よくわかった……………(4)
  - おおむねわかった……………(2)
  - 全くわからなかった……………(1)
  - 未回答……………(2)
  - ※マイクを通さずに話す機会が多かった。
  - ※高鍋町の未来に明るい課題、それに対しての努力目標等聞きたかった。具体的な内容の欠如。質問に正面から答えず、はぐらかすような一方的な持論を主張。
- ◆今回、傍聴されてお気づきの点がございましたら、ご記入下さい。(一部抜粋)
  - ・議会開催の周知のタイミングを早めてほしい。
  - ・竹嶋橋の架け替えについては賛成だが、集合型の説明・討論会の開催を希望する。

## 高鍋町総合計画の町民と対話でつなげる方法や手段は



まつおか のぶひろ  
松岡 信博 議員

**問** 町長は任期8年間で一度も町政座談会を行っていないが。

**答** 歴代町長は実施していない。意見交換会や座談会では参加できない方の意見を反映できず公平性が失われる。公民館で政策の賛否を問う意見交換はありえない。

**意見** 白樺町政で意見交換会はあった。嘘は言わないように。

**問** 議会の意見交換会にて11連協のほとんどが橋建設の住民説明会を開催すべきとの声が上がった。町長は9月議会で町民から要望があれば説明会を開くと言っていたが「嘘か」。

**答** 意見交換会で町民の1%程度に満たない要望で、説明会をやっても何%が来るのか。偏った形での説明会は避けたい。公平で民主的な説明が必要。私には全く要望はない。

**問** 竹嶋橋建設の賛否を問う「住民投票」は、議会制民主主義である議会の場で判断すべき。選挙で選ばれた議員の責任は町民の責任である。住民投票はしない。

**意見** 将来を見据える町づくりは町民の声を聞かず町長一人の考えでは町は発展しない。聞かず町長一人の考えでは町は発展しない。

**問** 町長はキヤノン誘致の税収で財政が豊かになると言った。キヤノンが1億6千万円の納税をしても地方交付税が減額する制度のため留保財源の4千万円しか残らない。投資と返済バランスを考えない企業誘致政策は失敗。

**答** 企業誘致条例で雇用や税収を上げ地域間競争を勝ち切る。

**問** 町長の理想論は現実ではない。現実が分からないのでは、行政トップとして失格。キヤノンの従業員採用1千500名予定が現在800名程度、高鍋町在住の従業員が木城町から高鍋町に通勤先が変わっただけ。財源も人口も増えない。投資だけの企業誘致の失敗と同じく竹嶋橋建設でも繰り返そうとしている。

**問** 平成29年から令和6年まで税収や地方交付税が上がっているのに財政状況が悪いのは収入と支出のバランスが崩れている。町長は無駄な事業を削減することなく、やりたい放題をした結果、財政状況が宮崎県内ワースト1位という不名誉な実績を作ったが。

**答** 実質公債費比率は起債（借金）を起こした数字が残っていた。令和7年度は問題ない。

**問** 町長はキヤノン誘致と同じく、橋を架ける名誉や選挙公約ばかりにこだわって返済は考えない。財政状況の悪化を承知で橋を建設するのさ。

**答** 人口減少の中で交流人口を増やし、町の活性化、経費対効果、誰もが使う橋、命の道である。橋を建てるのが使命。

**意見** 竹嶋橋の対岸に救急車両が到着する4分間のため10億〜13億円を出し町民サービスを犠牲にすることが正しい判断か、町長は何の安全対策もせず竹嶋橋を命の道と呼び悲惨な事故を理由に自分の名誉欲や選挙公約の実現のため町民に大きな負担をかける。真に受けたら大変なことになる。

**問** 町長は、キヤノン誘致の財源増加で竹嶋橋建設ができると本会議場で言った。町長の財政計画の甘さ、長期計画のずさんさが問題。町長は公約の失敗を認め高鍋町に大きな負担をかける財政支出・橋建設はすべきではない。

**答** リスクだけを考えず、先の可能性を考えるのが町づくり。



かとう ひでふみ  
加藤 秀文 議員

## 歴史と文教の城下町の食のPR

**問** 農畜産品のブランド化ではどんな作物に取り組んでいるのか。

**答** 本町は木城町との連携により有機農業の推進を図っている。

**意見** 令和6年6月に行政視察で訪問した大阪中央卸売市場の大阪中央青果(株)常務取締役の話の中に、今後の農業で益々重要なことは品質良い物を、定量を継続して安定して出荷できる事、更に機械化できない作物づくりにチャンスがある事、その際話された作物にゴボウは面白い。ゴボウづくりは人手が掛かり生産地は少ないが要望は多いと話されていた。本町には誘致企業にゴボウを原料にゴボウを生産されている(株)デイリーマームがある事からゴボウ栽培を検討されたらどうだろうか。

**答** 宮崎県児湯農業改良普及センター、J A宮崎児湯湯地区本部等関係機関と連携しサポートしたい。

◆地域おこし協力隊について

**問** 任期は3年と聞いているが、3年後独立し起業できるように現在どんな支援をされているのか。

**答** 着任から退任までの間、ミッシェンの遂行状況はもとより生活面も含めた相談に随時対応する伴走支援を行っている。

◆イワケン健康づくりセンター内プールについて

**問** 経年劣化によりシャワー室やその他施設に不具合が出ていると聞くが、具体的にはどんな状況なのか。緊急な改修・整備が必要なのではないか。

**答** 建設から21年が経過しており老朽化も進んでいることから、長期的には大規模な改修が必要な時期に来ている。

**意見** 経年劣化で不備のある施設の改修は早急に行う必要がある。再度、現状を確認し、順次改修していただきたい。

◆高鍋駅の利便性向上とデマンドタクシーについて

**問** 駅前にある高鍋町案内地図は今のままで良いのか。

**答** 理解しやすい案内板への改修を検討する。

**問** バリアフリー対策でのアンダーパス化(スロープ)はどうなっているのか。

**答** 川南町では、スロープ化となって13年。新富町では令和7年8月から工事が始まる。令和8年2月には完成予定のようだが。

**答** 実現に向けJR九州と継続して協議を行っている。

**問** デマンドタクシーの運行時間は延長できないものか。

**答** 現時点で直ちに運行時間の延長を行う事は難しいが、今後の運行の在り方について検討する。



高鍋町をもっと住みよくなる町で



こだま ひでと 議員 兒玉 秀人 議員

問 町道に雑草が生えている状況は。
答 担当課において定期的に作業を行っているが、夏季の雑草について対策が必要と考えている。

問 街路樹の下に防草シート等を敷いて雑草予防ができないか。
答 防草シートを敷くことは可能なので、地区からの要望があれば検討する。

問 第一日曜日を「清掃の日」として町として取り組めないか。
答 日程を指定しての取組はない。

◆空地の雑草について
問 空地の雑草について把握しているのか。
答 把握していないが、地域住民から空地の不適切な管理の相談があったら随時、状況を確認している。

問 枯れ草で火災の心配があるが、空地の雑草の対応は。
答 地域住民から相談を受けた際、適切な管理に協力してもらえようように所有者に通知している。

問 所有者に連絡しても対応してもらえない時はどうするのか。
答 再度早急に適切な土地管理についての文書を送付している。

問 所有者に代わって空地の草を刈ることができないのか。
答 所有者の承諾なしに地域住民が草刈り等を行うことは不法侵入などの不法行為とみなされる場合があるのでできない。

◆内水面氾濫対応について
問 台風や大雨になると土嚢を積んだり床下浸水になったりする所があるが、町としてどのように考えているのか。
答 この事態を重く受け止めている。町の対応として、ハード対応とソフト対応を組み合わせた総合的な対策を強力に推進していく必要があると考えている。

問 小丸出口地区の内水面氾濫の対応は。
答 排水路の直線化が理想的と考えているが、現実的に困難である。課題を解決するため、排水路ののり面への防草コンクリート設置、除草、浚渫工事を計画している。

◆高鍋駅の整備について
問 駅の駐車場利用者が多く、駐車できないこともあるのか。
答 JR九州に相談したところ現実的ではなく難しいとの回答。

歴史教育及びキャリア教育の推進に力を入れる



ながとも よしかず 議員 永友 良和 議員

問 上杉鷹山公のブルーレイディスクの活用は。
答 小学四年生の社会科の授業の中で取り扱われている。

問 歴史教育の推進では、どのようなものを作成される予定なのか。
答 本町の先人や藩校明倫堂のショート動画を視聴させ、グループで調べ学習を行う等探究学習の手法で取り組む予定である。

また、タブレットで動画を視聴させることで、子どもたちの興味を引き出し、効果的に活用できる教材になるものと考えている。

◆キャリア教育については。
問 キャリア教育については。
答 中学生を対象に実施し、グローバルコース等を設定し、生徒が興味や将来の進路希望に応じてコースを選択し学習する。

◆子どもたちの支援について
問 プロスポーツを口指す子どもたちへの支援は。
答 誰でも平等にスポーツのできる環境を整えていくことが重要で、個人への支援は考えていない。

◆町道維持管理について
問 町道の除草作業は。
答 ラジコンの草刈機では草丈の高い所は困難なため、状況に応じ使用する。

◆鳥インフルエンザについて
問 本町における埋却地の確保は。
答 町内の畜産農家については、埋却地の確保はできている状況である。

◆働き方改革について
問 役場職員の働き方改革について。
答 職員のライフスタイルや仕事・生活へのニーズが多様化していることも考え、健康保持、モチベーションの向上に努め、質の高い行政サービスを目指し、積極的に取り組んでいきたい。

ふるさと納税により自主財源の確保と地域課題の解決を



もり さき ひであき 議員 森 崎 英 明 議員

問 町長が思う持続的農業推進は。
答 本町の農業を持続的に発展させるためには、農地の基盤整備や集積、集約により生産基盤の強化、高齢化への対策及び担い手の確保、環境に配慮した営農の推進を進める。

◆企業版ふるさと納税について
問 誘致企業に対しての、企業版ふるさと納税の働きかけについて。
答 企業経営者の皆様と様々な意見交換をしている。地方創生に力を入れる思いを具体的な施策を説明し、本町への支援をお願いしながらクラウドファンディング等を利用して企業版ふるさと納税を求めたいと考えている。

◆ふるさと納税地域商社について
問 地域商社役員役割分担は。
答 町内の企業や団体、ボランティアとの協働での作業体制を導入することで、多くの参加者が見込め、よりよい古墳の

問 持田古墳の草刈り作業について、どのような状況にあるのか町長の認識は。
答 古墳を守る会が中心となって実施いただいております。多くの御協力により守り継がれていると認識しています。参加者の高齢化も進んでいる状況があるため、新たな管理体制の構築が必要であると考えています。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 今後の管理方法についてどのような考え方をもっているのか。
答 今回の管理方法は、ラジコン草刈り機の導入も検討している。花守山草刈り作業体制の導入と併せて、検討していきたい。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 町内特産品送料無料キャンペーンについて、その後、町長としてどのような検討をされたのか。
答 高鍋商工会議所との協議、予算及び事業効果を総合的に勘案した結果、プレミアム商品券発行事業が高い効果を見込めると判断した。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 関係課として、事業効果等事業者支援としての消費喚起を検討されたのか。
答 予算の規模、事業効果等を総合的に勘案した結果、送料無料化ではなくプレミアム付商品券発行事業がより高い消費喚起効果を見込めると結論に至った。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 お中元、お歳暮期間の取り組みは考えられないか。
答 当町で考えた際に、これらの取組、物価高騰に対する消費喚起等の一つと考える。予算や事業効果を勘案したときに、現時点、事業としての実施はなかなか難しいのではないか判断している。



持田古墳の草刈り作業に力を入れる



ひだか まさのり 議員 日 高 正 則 議員

問 持田古墳の草刈り作業について、どのような状況にあるのか町長の認識は。
答 古墳を守る会が中心となって実施いただいております。多くの御協力により守り継がれていると認識しています。参加者の高齢化も進んでいる状況があるため、新たな管理体制の構築が必要であると考えています。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 今後の管理方法についてどのような考え方をもっているのか。
答 今回の管理方法は、ラジコン草刈り機の導入も検討している。花守山草刈り作業体制の導入と併せて、検討していきたい。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 関係課として、事業効果等事業者支援としての消費喚起を検討されたのか。
答 予算の規模、事業効果等を総合的に勘案した結果、送料無料化ではなくプレミアム付商品券発行事業がより高い消費喚起効果を見込めると結論に至った。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 お中元、お歳暮期間の取り組みは考えられないか。
答 当町で考えた際に、これらの取組、物価高騰に対する消費喚起等の一つと考える。予算や事業効果を勘案したときに、現時点、事業としての実施はなかなか難しいのではないか判断している。



◆空地の雑草について
問 空地の雑草について把握しているのか。
答 把握していないが、地域住民から空地の不適切な管理の相談があったら随時、状況を確認している。

問 枯れ草で火災の心配があるが、空地の雑草の対応は。
答 地域住民から相談を受けた際、適切な管理に協力してもらえようように所有者に通知している。

問 所有者に連絡しても対応してもらえない時はどうするのか。
答 再度早急に適切な土地管理についての文書を送付している。

◆内水面氾濫対応について
問 台風や大雨になると土嚢を積んだり床下浸水になったりする所があるが、町としてどのように考えているのか。
答 この事態を重く受け止めている。町の対応として、ハード対応とソフト対応を組み合わせた総合的な対策を強力に推進していく必要があると考えている。

◆高鍋駅の整備について
問 駅の駐車場利用者が多く、駐車できないこともあるのか。
答 JR九州に相談したところ現実的ではなく難しいとの回答。

◆子どもたちの支援について
問 プロスポーツを口指す子どもたちへの支援は。
答 誰でも平等にスポーツのできる環境を整えていくことが重要で、個人への支援は考えていない。

◆町道維持管理について
問 町道の除草作業は。
答 ラジコンの草刈機では草丈の高い所は困難なため、状況に応じ使用する。

◆鳥インフルエンザについて
問 本町における埋却地の確保は。
答 町内の畜産農家については、埋却地の確保はできている状況である。

◆働き方改革について
問 役場職員の働き方改革について。
答 職員のライフスタイルや仕事・生活へのニーズが多様化していることも考え、健康保持、モチベーションの向上に努め、質の高い行政サービスを目指し、積極的に取り組んでいきたい。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 今後の管理方法についてどのような考え方をもっているのか。
答 今回の管理方法は、ラジコン草刈り機の導入も検討している。花守山草刈り作業体制の導入と併せて、検討していきたい。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 関係課として、事業効果等事業者支援としての消費喚起を検討されたのか。
答 予算の規模、事業効果等を総合的に勘案した結果、送料無料化ではなくプレミアム付商品券発行事業がより高い消費喚起効果を見込めると結論に至った。

◆町内特産品送料無料キャンペーンについて
問 お中元、お歳暮期間の取り組みは考えられないか。
答 当町で考えた際に、これらの取組、物価高騰に対する消費喚起等の一つと考える。予算や事業効果を勘案したときに、現時点、事業としての実施はなかなか難しいのではないか判断している。

# 2027国民スポーツ大会の開催について



はし しげふみ 橋 重文 議員

**問** 高鍋町の取組は。  
**答** 本町の魅力を広く発信する機会と捉え、町内へのPRを継続し、大会開催機運の醸成に取り組む。

**問** 軟式野球(成年男子)の会場となる高鍋総合運動公園MASUDAスタジアムの整備は。  
**答** 現在、改修工事中。その主な内容は、バックネットの改修や木部席の整備。

**問** 避雷針設備の設置は考えられないか。  
**答** 設置計画はないが、国や県の補助制度が確立すれば検討したい。

**問** バドミントンの会場となる井上スポーツセンター高鍋町総合体育館の整備は。  
**答** 令和3年度に完了した大規模改修工事の中で、落下により被害をもたらす危険性のあった天井改修やアリーナ床素材の木製からビニルシート系への転換、また、国民スポーツ大会施設基準に定めるバドミントン競技に必要な照度基準とするため、水銀灯からLED照明への更新を行っている。

**問** 空調(冷暖房)設備の設置は出来ないか。  
**答** 国民スポーツ大会では、仮設での空調を導入。常設は、熱中症の問題を踏まえて、検討していかねばならない課題と考えている。

**問** フレッシュグラウンド・ゴルフの会場となる小丸河畔運動公園の整備は。  
**答** 必要に応じて芝の養生期間を設ける等検討。

**問** デモンストレーションスポーツ競技のフレッシュグラウンド・ゴルフは、どういう方が参加するのか。  
**答** 県内在住者を対象として、子どもからお年寄りまで幅広く参加できる。

**問** 各会場の来客数は。  
**答** バドミントン競技は、選手・監督・大会役員合わせて1日最大700名、一般観客が800名ほどの見込み。大会4日間の延べ数は、およそ1万人の見込み。軟式野球競技は、選手・監督・大会役員を合わせて1日最大200名、一般観客100名ほどの見込み。大会2日間の延べ数は800名ほどの見込み。フレッシュグラウンド・ゴルフは、参加者・大会役員、合わせて1日間で300名ほどの見込み。

※健康づくりセンタープールの質問もしましたが、加藤議員とほぼ同様な内容でした。

# 地域で命を守る防災について



かきはら とみこ 榎原 富子 議員

**問** 消防団の存続についてどのように考えているか。  
**答** 地域の実情を熟知した貴重な人材として地域防災の中核を担う、なくてはならない存在であるので、消防団活動が継続できるよう支援してまいりたい。

**問** 講習会、防災教育、自主防災組織の支援など、町として現在行っている活動は。  
**答** 防災に関する出前講座、避難訓練、防災士養成事業補助や自主防災組織に対する補助事業等を行っており、職員による啓発等も実施している。

**◆自治公民館について**  
**問** 各自治公民館の加入者数や加入状況をどのように把握しているのか。  
**答** 加入世帯数の推移については、町全体の現住世帯数8763世帯、加入世帯数5246世帯、加入率59・9%、5年間で17・4%加入率が低下をしている。

**問** 町として、このような状況のなかでの協力的体制の構築をどのように考えているのか。  
**答** 町として、高鍋町にとって有益な取

組をどのように実施すれば、地域環境を維持できる体制を築くことができるのか、検討したい。

**◆竹鳩橋について**  
**問** 財政計画の下、竹鳩橋建設事業に着手しても、町の財政的健全が保たれるのか。  
**答** 竹鳩橋の架け替えを含めた町道川田竹鳩線道路改良事業の実施については、補助金の補助率や特別交付税措置が手厚く、健全な財政状況が維持できるとの判断をしている。

**問** 竹鳩橋建設事業の財源である防衛省による70%の補助、それに伴う特別交付税の補助はいつ交付されるのか。  
**答** 特別交付税の措置は防衛省の補助金交付決定通知のあった年度の12月に交付されることになっている。

**問** 町として、どのようなリスク設定と対応策を見込み、どの程度の予備費を含めているのか。  
**答** 物価高騰や資材価格の変動などによる費用の上昇に対し、適切な形で事業費を見直すことが可能である。

**問** 住民サービスへの影響は出ないのか。  
**答** 住民サービスに支障を来す可能性は極めて低いとの判断をしている。

# 竹鳩橋について



はるなり いさむ 春成 勇 議員

**問** 竹鳩橋の架け替えは。  
**答** 現在の竹鳩橋は完成して65年になる。竹鳩橋の架け替え事業は現地の状況と本町の将来的な発展を見据えた上で必要であると思う。

**問** 橋の老朽化と交通上の危険性があり、避難や消防活動の円滑化を図り、人命にかかわる重要なインフラ整備である。  
**問** 台風や大雨が降った場合に橋に据え付けている安全ロープ撤去作業を職員がやっているが、安全確保は出来ているのか。  
**答** ガードロープの撤去作業は作業員全員にライフジャケットの着用を義務付け、安全確保をしながら作業している。

**問** 新しい竹鳩橋の通行に対し、有料化の検討は。  
**答** 町民生活での影響と公平さの観点から、有料化は考えていない。

**問** 国交省の問題だが、小丸川の上砂堆積の撤去は。  
**答** 土砂撤去は洪水の危険水位を下げる効果があり、治水安全度を向上させる。今後、土砂撤去を実施する見込み。

**問** 蚊口街区公園の横に、下水道処理場を計画していた空地に草が繁茂している。維持管理は。  
**答** 定期的に管理をしている。

**◆空き家について**  
**問** 管理不全な空き家の増加は防災・防犯性の低下・衛生環境悪化・景観の悪化・近隣のトラブル発生・周辺地域の資産価値低下といった問題を引き起こしているが、町の取り組みは。  
**答** 老朽化が進み倒壊等の危険がある不良の空き家は、空き家の所有者に対し適切な管理を行うよう通知や指導を行っている。また、管理不全の空き家は特定空き家認定作業を推進している。

**問** 空き家の解体工事の件数は。  
**答** 建築物除去届出書の中で令和2年から令和6年まで69件の除去工事を行っている。

**◆補聴器について**  
**問** 高齢者の認知症が起きる中で最も影響が大きいのは難聴であるといわれている。認知症を未然に防ぐため、耳の補聴器の助成は出来ないのか。  
**答** 国・県・他の自治体の動向を注視して、助成を検討していく。



# 竹鳩橋架け替えの住民説明会は開催しないのか



もり ひろみち 森 弘道 議員

**問** 議員一同、竹鳩橋架け替えそのものに反対はしていない。町民からの要望があっても説明会を開催しないのか。  
**答** 本事業の事業化が決定した後、具体的な測量の段階で沿線の関係者の皆様を対象に説明会を実施したい。

**問** 今年の第1回定例会で、しかるべきとき、より具体的にいったときに説明会をすするという答弁だったが。  
**答** 住民を一律に集める集会型説明会は、特定の日時を逃すと情報が途絶え、知る機会の平等が損なわれかねないとの理由から、今後開催する予定はない。

**問** 事業採択が決定しているのではないかと伺うこと。同じ6年第一回定例会で「レスキュー道路の認定を議会でも発言したい」と、やっと昨年言われ」という町長答弁がある。この発言を聞く、このレスキュー道路の話は、それまで口外禁止、絶対言ったらいけないかったんじゃないかと思うが。  
**答** 防衛省とは常に、いつ議会に報告すべきか、議員の皆さんの知らないところで話を進めていた。常にそのタイミングを見ながらの答弁してきた。

**◆竹鳩橋について**  
**問** 財政計画の下、竹鳩橋建設事業に着手しても、町の財政的健全が保たれるのか。  
**答** 竹鳩橋の架け替えを含めた町道川田竹鳩線道路改良事業の実施については、補助金の補助率や特別交付税措置が手厚く、健全な財政状況が維持できるとの判断をしている。

**問** 竹鳩橋建設事業の財源である防衛省による70%の補助、それに伴う特別交付税の補助はいつ交付されるのか。  
**答** 特別交付税の措置は防衛省の補助金交付決定通知のあった年度の12月に交付されることになっている。

**問** 町として、どのようなリスク設定と対応策を見込み、どの程度の予備費を含めているのか。  
**答** 物価高騰や資材価格の変動などによる費用の上昇に対し、適切な形で事業費を見直すことが可能である。

**問** 住民サービスへの影響は出ないのか。  
**答** 住民サービスに支障を来す可能性は極めて低いとの判断をしている。

**意見** 令和4年第4回定例会で、令和3年度に竹鳩橋のレスキュー道路を防衛省にお願いし、内定しますと言われ、神祭野坂が令和8年に完成予定で、その後ですとも言われている。と答弁されているが、この会話も外に出たらいけない話じゃなかったのかなと思う。

**問** 竹鳩橋建設となった場合の資金、財源をどのような形でマネジメントするのか。  
**答** 一般財源という財政調整基金を使うということ。財政調整基金を使っちゃいけないとか、そういうことを言っておられるので、それで説明した。

**問** 中央公民館や学校の改修計画の詳細は出ていないと思うが、財政運営のシミュレーションには問題ないという答弁が理解できない。  
**答** 現時点で具体的な方針が定まっていなくて、事業費等が定まっていなくて、点においてシミュレーション作成は困難である。

**意見** 高鍋町と同程度の財政力の自治体で、竹鳩橋規模の橋梁を架けた事例がこれまで全国的にないと聞いている。それならば尚のこと、事業をどう進めていくのか、財源はどう確保していくのか、竹鳩橋に係る財源が優先された場合、福祉分野とかに齟齬せざる心配はないのか、丁寧に町民に説明する必要があると思う。最後に、とにかく4月までの3か月間に町民への説明会が開催されることを期待したい。